

# 人に役立つもの、社会が求めるものをつくりつづけています

## 会社概要

社名 川崎重工業株式会社  
 英文社名 Kawasaki Heavy Industries, Ltd.  
 設立 1896年(明治29年)10月15日  
 [創業1878年(明治11年)4月]  
 資本金 1,031億円  
 本社所在地 神戸本社  
 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号  
 東京本社  
 東京都港区浜松町2丁目4番1号  
 代表者 取締役社長 大橋忠晴  
 事業所 国内20(工場10) 海外4  
 (裏表紙参照) 関係会社131(子会社99、関連会社32)  
 (2007年3月31日現在)

### ……………編集にあたって……………

本報告書は、当社の環境ならびに社会活動を広く皆様にお伝えするために、1999年から毎年発行しています。今回は、主に以下の内容に焦点をあてて編集しました。

- 当社は、2006年9月に中期経営計画「Global K」を策定しました。これは、当社が今後、社会や環境とどのように向き合っていくのか、また、社会的役割をどのように果たしていくのかなどを定めたものです。この「Global K」のもとでの環境経営活動のあるべき姿を明確にしています。
- 重点課題としている、「環境マネジメントシステムの充実・グループへの展開」「環境リスクマネジメントの再整備」「製品を通じた環境貢献の拡大」「事業量拡大を踏まえた生産活動での環境負荷低減施策の強化」などの取り組みについて、これまでの実績の分析・評価と今後の方針を示しています。
- 企業の社会的責任に関する体制整備やステークホルダーとのかわりについて内容の充実を図っています。

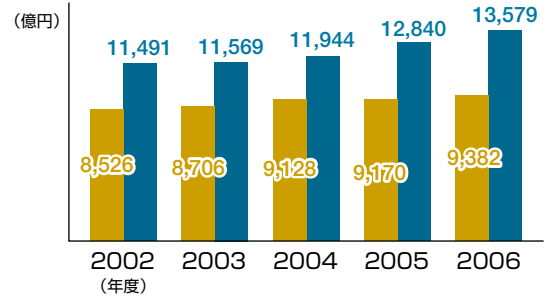
対象範囲 川崎重工グループ全体。ただし環境報告の範囲は、川崎重工業(株)および主要子会社3社(株)川崎造船、(株)カワサキプレジジョンマシナリ、カワサキプラントシステムズ(株)。

対象期間 2006年度(2006年4月1日～2007年3月31日)。  
 一部に2007年度の活動も含まれています。

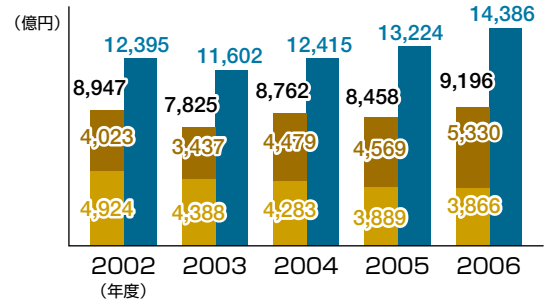
次回発行 年度報告書として毎年1回発行する予定です。

本報告書制作にあたっては、環境省の「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」を参考にしています。

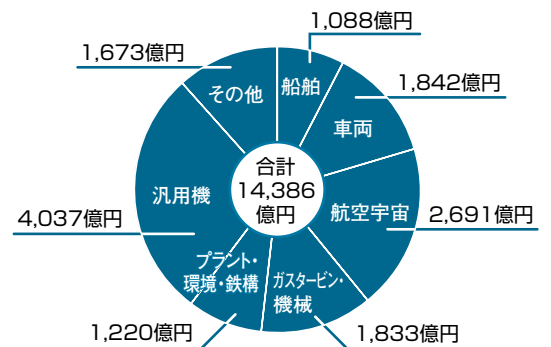
## 総資産額 単独 ■ 連結 ■



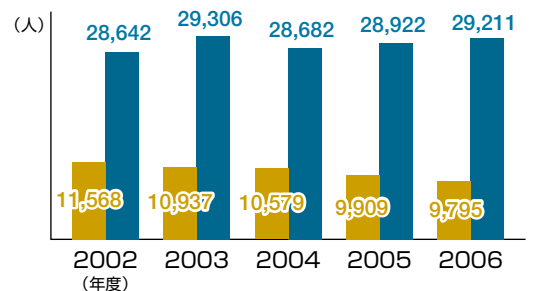
## 売上高 単独 ■ 国内 ■ 輸出 ■ 連結 ■



## 部門別売上高(2006年度・連結)



## 従業員数(期末) 単独 ■ 連結 ■



## 事業概要



■ 航空機



■ プラント・産業機械



■ 鉄道車両



■ 大型構造物



■ 船舶



■ 土木・建設機械



■ エネルギー・環境保全設備



■ 二輪車・ジェットスキー<sup>®</sup>\*1

### カンパニーおよび主要子会社の主要製品

車両カンパニー 車両部門 建設機械BC <sup>※2</sup> 大型構造物BC	■ 鉄道車両 ■ 土木・建設機械 ■ 大型構造物
航空宇宙カンパニー	■ 航空機
ガスタービン・機械カンパニー ガスタービンBC 機械BC	■ 航空機 (ジェットエンジン) ■ 船舶 (船用主機) ■ エネルギー設備 ■ プラント・産業機械
汎用機カンパニー	■ 二輪車・ジェットスキー <sup>®</sup> ■ 産業機械 (産業用ロボット)
(株)川崎造船	■ 船舶
(株)川崎プレジジョンマシナリ	■ 産業機械 (油圧機器)
川崎プラントシステムズ(株)	■ エネルギー・環境保全設備 ■ プラント・産業機械

\*1 ジェットスキー<sup>®</sup>は、川崎重工の登録商標で、パーソナルウォータークラフト(水上オートバイ)のことです。

\*2 BC:ビジネスセンター

## 目次

### 川崎重工グループについて

- 3 社長あいさつ  
世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”
- 5 ミッションステートメントと中期的経営戦略  
川崎重工グループ・ミッションステートメント  
中期的経営戦略

### 特集

- 7 人と社会と地球のために  
クリーンエネルギーとともに  
川崎重工の天然ガス関連技術
- 9 天然ガスの安定供給を願って  
川崎重工の技術を結集したLNG運搬船
- 10 天然ガスの高効率利用を目指して  
川崎重工のコージェネレーションシステム、コンバインドサイクル発電設備
- 11 海外からの社会貢献活動報告  
お客様からの支援を社会と環境への思いやりにかえて  
(Kawasaki Motors Corp., U.S.A. (KMC))
- 12 仕事へのプライドと社会貢献  
(Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. (KMM))

### 環境報告

- 13 環境経営  
地球環境の未来を見つめて  
中期経営計画「Global K」のもとで「環境経営」をさらに推進/環境憲章
- 14 環境管理体制
- 15 中長期環境ビジョン「2010年のあるべき姿」に向けて  
(環境経営活動の実績と評価)
- 17 環境マネジメント活動
- 19 環境会計
- 20 事業活動のマテリアルバランス
- 21 環境配慮製品  
製品のライフサイクルを通じた環境負荷低減  
(建設機械部門における取り組み)  
(二輪車・ジェットスキー<sup>®</sup>などの汎用機部門における取り組み)  
(製品分野ごとの取り組み)
- 27 環境ソリューション製品  
環境の改善や保全に役立つ環境ソリューション製品
- 29 生産現場での環境配慮  
生産活動における環境負荷低減
- 31 環境データ集  
環境負荷データ(2006年度)
- 32 廃棄物の排出量と再資源化量/化学物質の排出・移動量(2006年度)
- 33 各工場における環境負荷データ

### 社会性報告

- 35 ガバナンス・コンプライアンス  
社会から信頼されつづけるために
- 37 お客様とともに  
ガスタービンの高い信頼性と高度な品質管理  
(川崎重工ガスタービンの品質保証とカスタマーサポート)
- 38 お客様のニーズをかたちに  
(マーケットインの発想の川崎マシンシステムズ)
- 39 従業員とともに  
いきいきとした職場へ
- 40 職場の安全づくりと健康づくり
- 41 社会とともに  
社会・人々との共生を目指して